

株式会社サンジュニア

サンジュニアは「**家の深さ×地域との関係＝可能性∞**」の循環システム？

代表者名	西原弘樹
従業員数	130人
創業	1981年
住所	須崎市大字須坂 1595-1
T E L	026-215-2600
事業内容	太陽熱給湯器及び太陽熱暖房機器等の製造・卸・販売業、建築資材・厨房器具等の卸・販売業、建築工事及び土木工事の設計・施工請負
給与	募集要項を参照ください。
U R L	https://www.sunjunior.co.jp/ （企業 HP） https://recruit-sunjunior.com/ （採用情報）

サンジュニアは「かけがえのない地球を守りたい」の創業精神を掲げ、自然豊かな長野の地から、たとえ微力でも力になりたいという強い思いから起業。以来「CO2増大による温暖化を食い止めること」を目標に、研究開発に取り組んでいます。現在では、世界最高水準のソーラーシステムを確立し、国内唯一の開発、製造、販売、アフターサービスまで一貫して社内で行っています。

そんなサンジュニア本社社屋は、長野電鉄須坂駅から徒歩10分ほど。近隣には須坂創成高校やスーパーマーケットが並び、お隣には河東線記念公園。そんな立地に本社を構えます。お伺いした当日に社屋外でお話を聞かせていただいたのですが、なんと「外壁がない」との事。言われてみれば敷地境界にはフェンスすらありません。また、お隣の敷地内の社員寮から近隣スーパーに行きやすいように階段を設置されたようですが、こちらは、寮の住人以外のご近所の方々も「便利」と利用されているそうです。このようにすっかり地域に馴染んでいる会社。

当日は、代表取締役社長の西原様に色々なお話を聞かせていただきました。更に、須坂市に移住してサンジュニアにお勤めになった「柳生さん」から須坂市についてご紹介いただきましたので、別原稿『移住におすすめポイント5選～サンジュニアと須坂市のここがステキ』にてご紹介いたしますので、そちらもご覧ください。



社屋と西原社長

●働き方や嬉しい社内の制度

社員数は男女合わせて計130名。まずは、働き方についてお伺いしたところ、皆様仕事とプライベートを両立されているご様子。定時でしっかりと帰宅。仕事とプライベートのメリハリをつけることや時間管理が上手な印象です。

また、サンジュニアといえば、少しユニークで嬉しい、様々な福利厚生も特徴の一つ。（詳細はサンジュニア公式ホームページから、「採用情報」をご覧ください。）少しだけご紹介すると、社員の健康増進のための取り組みの「10分エクササイズ」。Webを使って参加したい人が参加できるエクササイズとの事。楽しそうです。他にも「電気自動車の充電器」なんと社員の皆様は無料で車の充電ができるとの事。サンジュニアならではの補助です。



電気自動車用の充電器

また社員寮が用意されているのですが、こちら市内のいくつかの企業様でも使用されているそうです。現在は44名利用できるうち、サンジュニアの社員様が利用しているのは、須坂市紹介をいただいた「柳生さん」の1室で、寮の管理もされているそうです。

●求める人材

さて、サンジュニアでは現在幅広い部門で人材を募集中ですが、積極的に募集をしている部門は「営業」部門と「メンテナンス」の部門。営業所が沢山ありますが、ほぼ「現地採用」とのことで転勤はほとんどありません。仕事内容が「営業や設置に行って終わり」ではなく、お客様へのきめ細やかなケアがあるので、その地域で「色々な方面でじっくりと関係を深めて欲しい」そうです。

人柄については「自然が好き。自然を守りたいという気持ちがある事」これがある方は、会社の考えにも共感しやすいとの事です。また、経験がなくとも「チャレンジする気持ちがある人」を求めます。営業やメンテナンスも継続して人と関わっていく事になるので、「人との関わりが好きな人」が向いているようです。お仕事内容については、お客様より「ありがとう」と言ってもらえたり、「喜んでいただける事が多い」との事なので、やりがいも日々感じる事ができそうです。

また、入社後は、様々な部門での経験を積むこともできる

ので、適性について不安がある方も安心です

●未来を作るのは誰？サンジュニアは知っている

さて、サンジュニアの商品といえば？須坂市民であれば、小学校のプールにある太陽熱プールシャワーシステム「サンジュニアくん」を挙げる方も多いのではないのでしょうか。機体の「わは」と笑う顔が、親しみやすさもいい感じです。サンジュニアは須高地区の小学校全てにこの「サンジュニアくん」を寄贈されています。何かきっかけ等があったのでしょうか。



「サンジュニアくん」設置の様子

それについては「未来は子供たちがつくるから」とのお答え。商品を知り、自然のエネルギーの偉大さを実際に太陽のエネルギーで温められたシャワーを体感する事で、「環境について考えるきっかけ」になり、「エネルギーに関する様々な事や問題」等についての新しい視点を獲得する事が期待できます。更にサンジュニアについて知るきっかけになりますね。

社内のアイデアに対しても否定せず、チャレンジをさせていただきます。例えば、社内環境の改善。オフィスの環境があまり良くないと感じた社員の発案で、「音楽を流したり」工夫をした事で、「会話がしやすくなった」などの環境の改善が見られたそう。こういった提案についても、社長はノータッチでチャレンジをさせていただきます。こういった風通しの良さは魅力の一つです。

当日ずっと感じていたのですが、色々なことについて広く受け入れてくれる事、惜しみなく機会や手段を与え、見守ってくださる懐の深さがサンジュニアにはあります。こうやって、自然とサンジュニアの周りでは、人、コト、色々なものの可能性が育っているのだらうなと感じました。

●居心地の良さ

さて、サンジュニアで働く方の中には「スポーツ選手」の移住者も数名いらっしゃるそうです。クラブチームに所属して活躍をしたいけれど、「仕事をしないと生活ができない」そういったわけで、サンジュニアに紹介されて応募する方もいらっしゃるそうです。先ほどの柳生さんもそのお一人。でもこういった方はそのチームを退団後、サンジュニアや須坂市を去ってしまうのではないのでしょうか。そこは意外に？

「会社に残られる」との事。居心地の良さが決め手のようです。それは納得。社員の皆様は、アクティブで仲が良い事が伺えます。社内では西原様も把握されていないようなイベントが企画されていたり、仕事についての知識を深める「サンジュニア大学」という社員の方が自発的に開いている勉強会も2ヶ月に1回ほど開催されているのだとか。

会社のイベントとしても、須坂市のお祭り「カッタカタ祭り」への踊り連の参加や、会社隣にある「河東線記念公園」を会場とした、イベントの開催も以前はあったそうです。地域の方向けに出店を出したり、市内企業の方で組まれたバンドを呼んで演奏していただいたり、地域の皆様に楽しめるイベントも開催されていました。

●「自社だけではなく地域にも」サンジュニアならではの取り組み

サンジュニアといえば、やはり太陽光発電。現在は社内の電気の3分の1程度、冬季は床暖房の電気の3分の1が社屋の屋根に設置されている装置の半分からまかなわれており、生み出された電力の一部は地域に供給されています。「電気を太陽のエネルギーから作って使って、そして売れるって良さそう」など、私は簡単に考えてしまいましたがそうではなく、「発電するために消費される資源やエネルギーを抑える事」「排出してほしくないものを抑えることができる」ので、特定の事業所や施設に電気を送るのではなく、地域への供給をしています。

●最後に

その他、貴重な限られた時間の中で、電気の売買などのしくみ。昨今の社長の体験や、感じた事等、興味深いお話を沢山聞かせていただき、色々な事を教えていただきました。そしてその間何度「おおらかで寛容、懐の深さ」を感じたことか。そんな魅力の数々を、我々も新設された、「スーパーへの近道の階段」を帰りに利用させていただきながら思い返したのです。

(2024. 05)



取材当日は素晴らしい太陽光日和でした